



湾岸・アラビア半島地域ニュース

カタール：中国の銀行ドーハに初進出

(2月1日付現地紙)

1. カタール・ファイナンシャル・センター(QFC)規制当局は、中国大手の中国工商銀行(ICBC)に対し、同センター内に支店を開設する許可を与えた。同支店は、中国の銀行による最初の中東支店となる。
2. ICBC株のうち2億600万ドル分は、カタール投資庁が保有している(他方、クウェイト投資庁は、7億2000万ドル分のICBC株を保有している)。
3. Jiang Jianqing ICBC会長は、「今回の支店は、中国銀行最初の支店となる。これは、顧客の中東における利益拡大・発展を支援していく我々の言行一致を明示するものである」と述べた。
4. スチュアート・ピアース QFC 規制当局 CEO は、「ICBC のカタール参入は、中国と中東地域との間の貿易拡大を明示している。カタールにおける ICBC の存在が、カタール・中国関係のさらなる拡大を促し、また、カタール国内の新たな公共・民間部門投資部門のイニシアティブを大いに刺激することを期待している」と発言した。

<参考>

2月2日付イラン現地英字紙「イランデイリー」は、中国の銀行が対イラン取引を現時点で4ヶ月停止していることに関して、イラン外務省のミールアブターレビ外務次官が、核開発計画に対する米国の圧力のために中国の銀行がイランの銀行との取引を停止していることを明らかにしたと報じている。全ての取引が停止されているか、一部の取引に限定されているのかについての詳細は不明。